

第1回 使用済太陽光パネルに関する研究会

使用済太陽光パネル処理に係る 調査結果について



静岡県くらし・環境部 環境局
廃棄物リサイクル課

1 調査概要

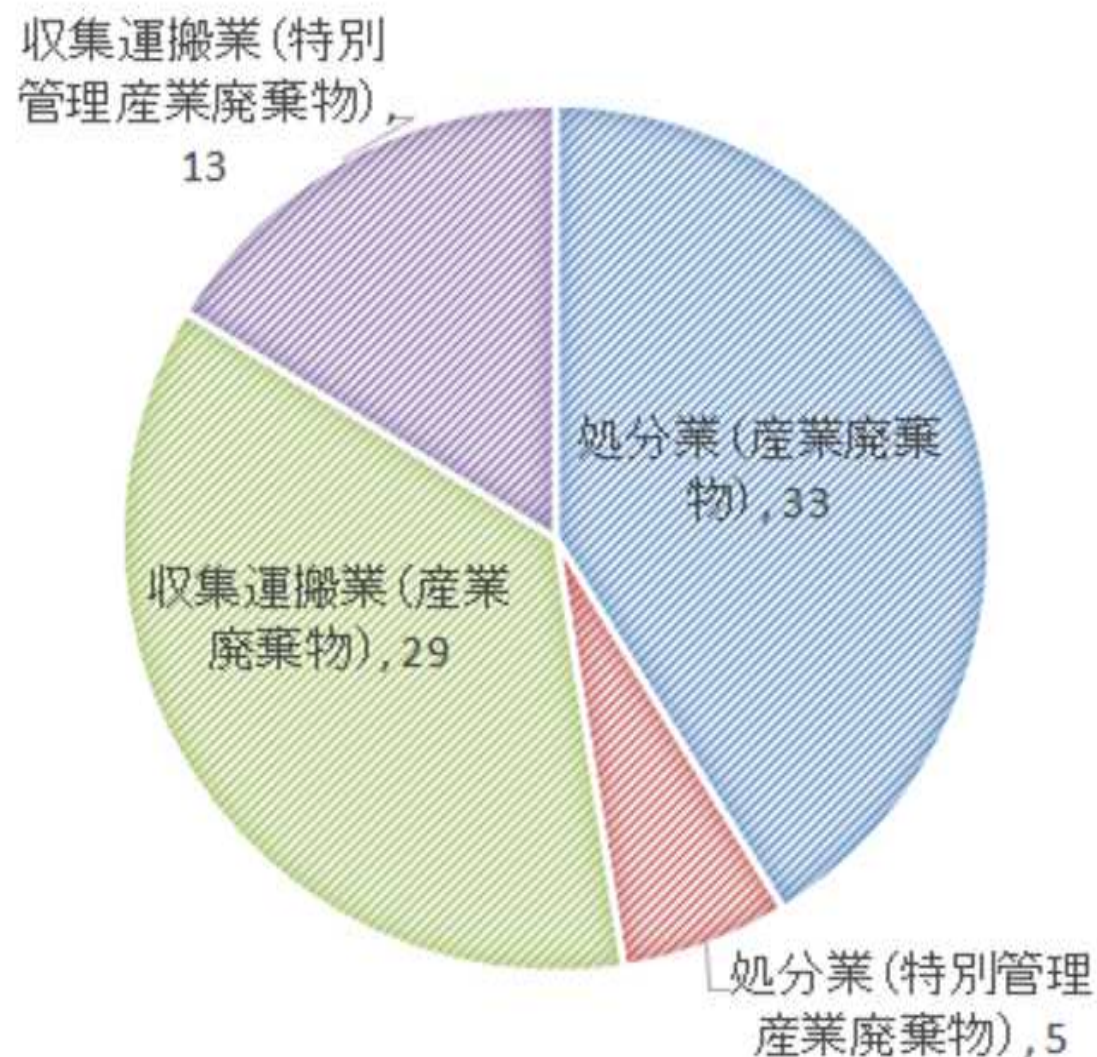
- ・太陽光発電の導入拡大に伴い、2030年代後半以降、使用済太陽光パネルの排出量は顕著に増加すると想定されている。
- ・県内の処理業者の使用済太陽光パネルの処分実態、事業参入予定、認識、ニーズ等を把握するための調査を実施した。



2 調査対象

- ・公益社団法人静岡県産業廃棄物協会の中間処理部会員等（194社）
→回答数33社（回答率17.0％）。

（業態別）



3 調査時期・方法

時期：令和7年1月29日～2月21日

方法：Webによるアンケート調査を実施



【テスト環境】ふじのくに 電子申請サービス(住民側)

プレビュー 使用済太陽光パネルの処分に係るアンケート

使用済太陽光パネルの処分に係るアンケート

【貴社について】

回答いただく方についてご入力ください。

企業名 **必須**

御担当者様名 **必須**

氏

名

電話番号 **必須**

電話番号

メールアドレス

メールアドレス

取得している許可 **必須**

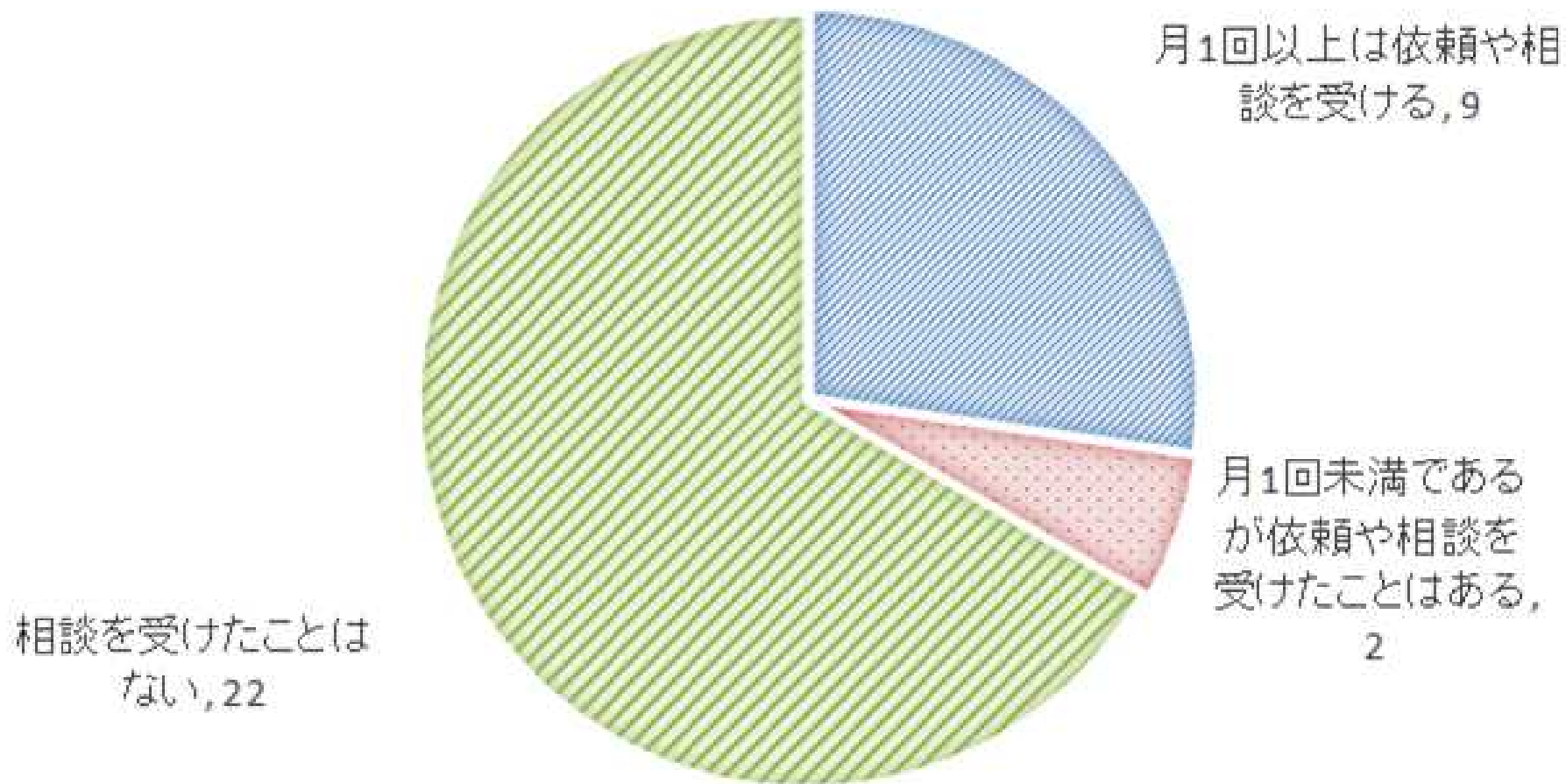
☐ 処分業（産業廃棄物）

☐ 処分業（特別管理産業廃棄物）

☐ 不特定多数の住民に対するアンケート調査

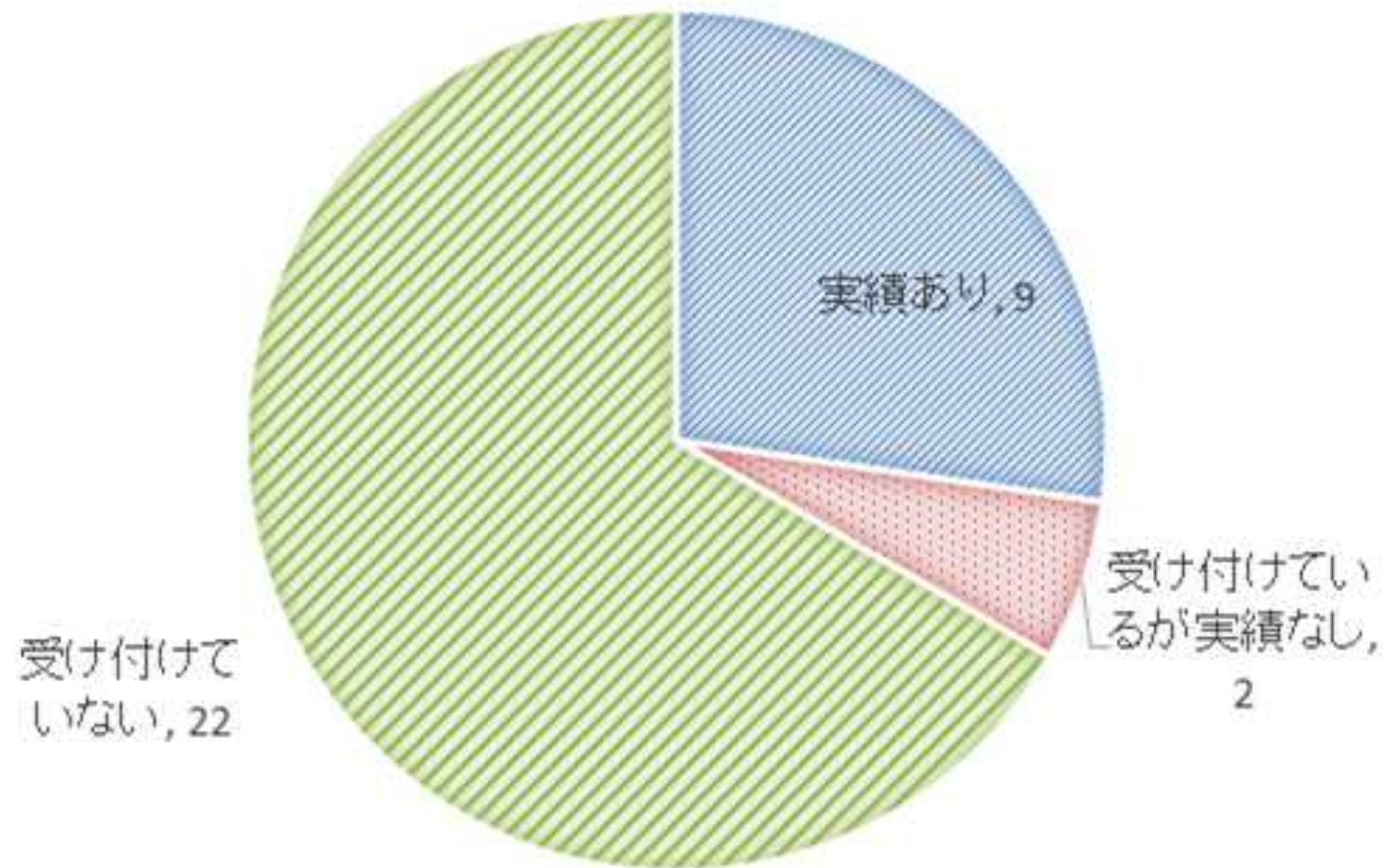
4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：使用済太陽光パネルについて、排出事業者等から処分を依頼されたり、相談を受けることはありますか。



4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：現在、使用済太陽光パネルの処分を行っていますか。

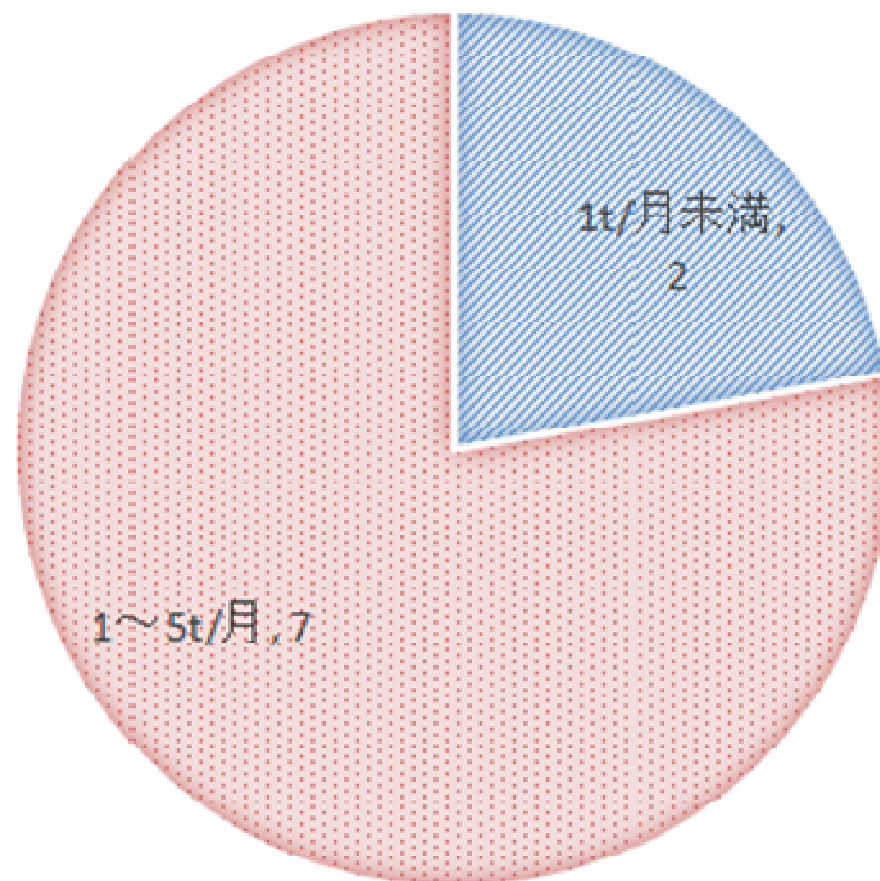


太陽光パネルの処理を行っている事業者は「3割」程度！

4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：1 か月あたりの処分量及び処理施設の概要について教えてください。

（処分量）

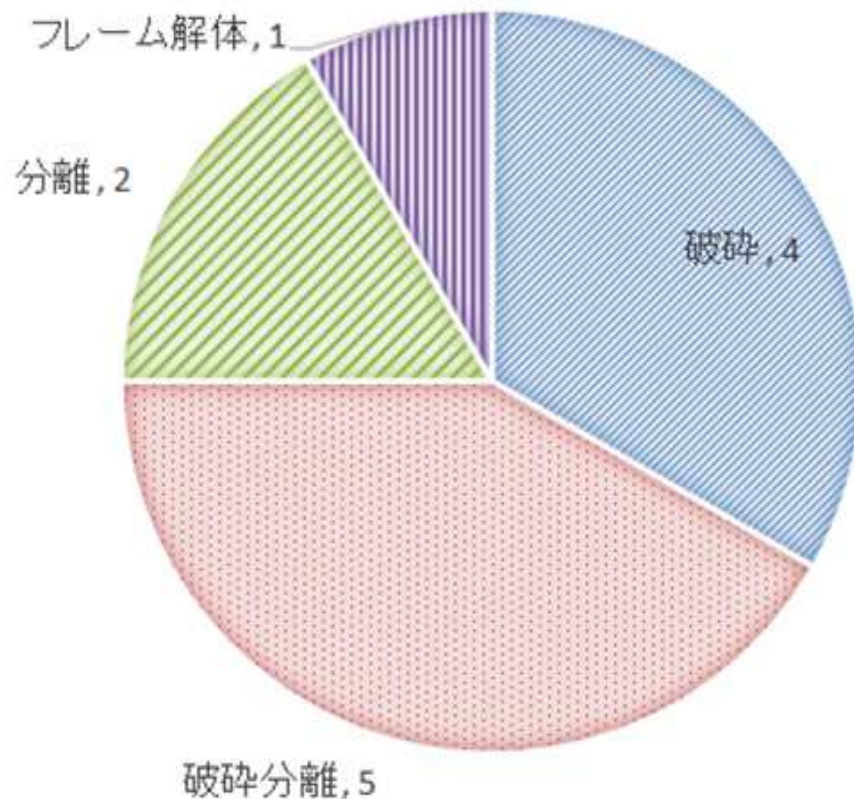


処分量は多くても「1～5t/月」程度

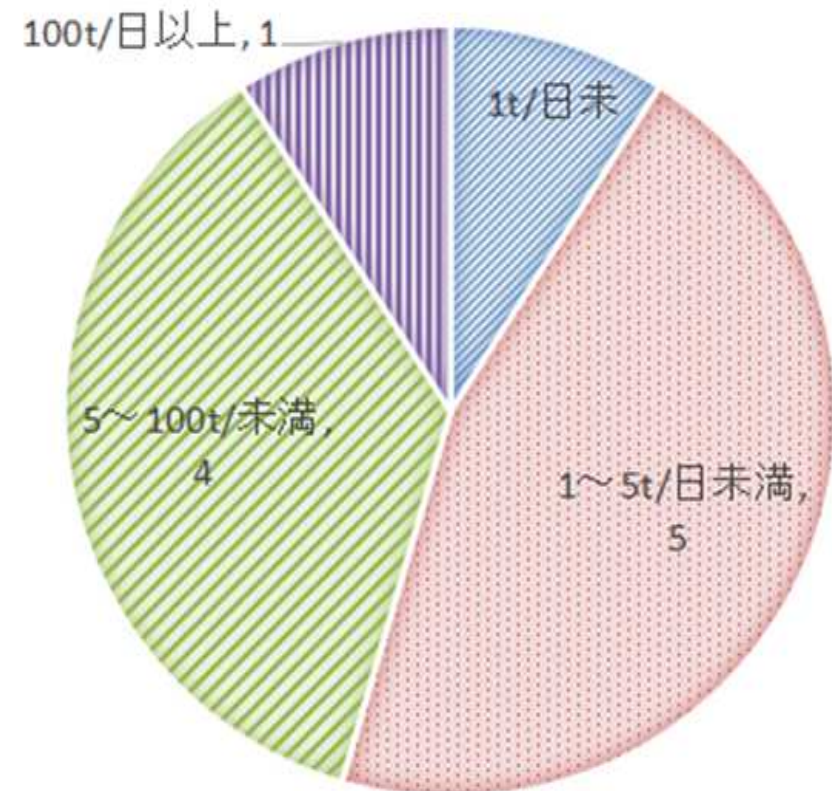
4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：1 か月あたりの処分量及び処理施設の概要について教えてください。

（処分方法）

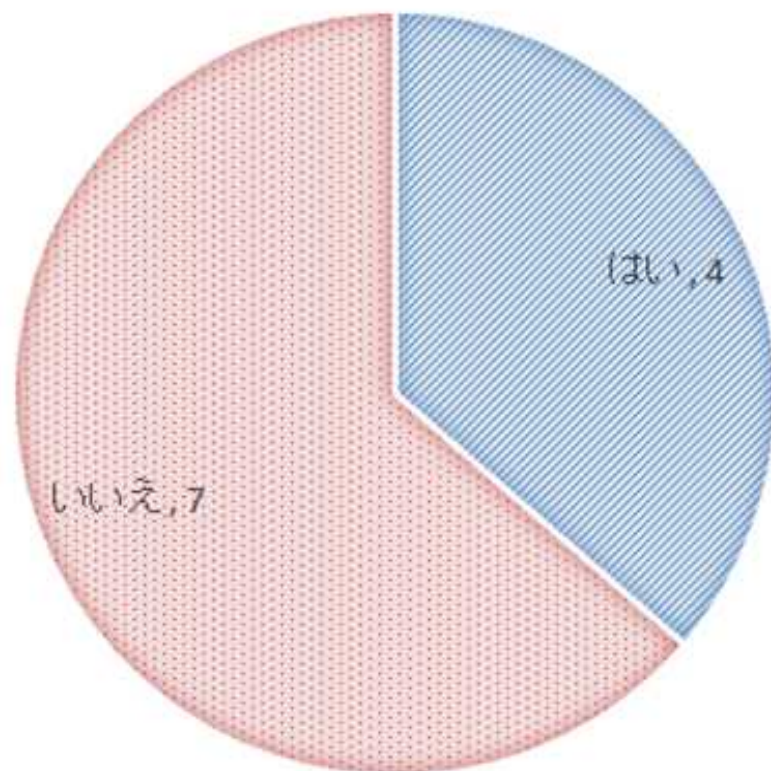


（処理能力）



4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：処分を行う施設は太陽光パネル専用の施設ですか。



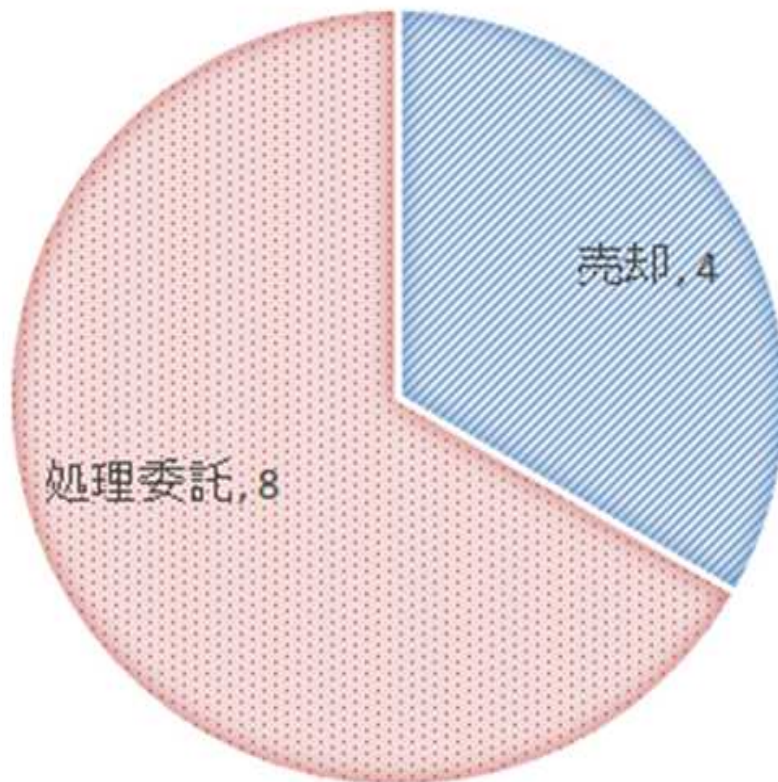
（専用施設を導入した理由）

- ・ 太陽光パネル大量廃棄に備えるため
- ・ 専用設備を用いることで、パネルの分解・選別を自動化し、作業の安全性と効率を向上
- ・ ガラス、アルミ、シリコン、などを分別・回収し、資源として再利用できる
- ・ 今後、太陽光パネルのリサイクル義務化などの規制強化が見込まれるため、事前に対応可能な設備を導入

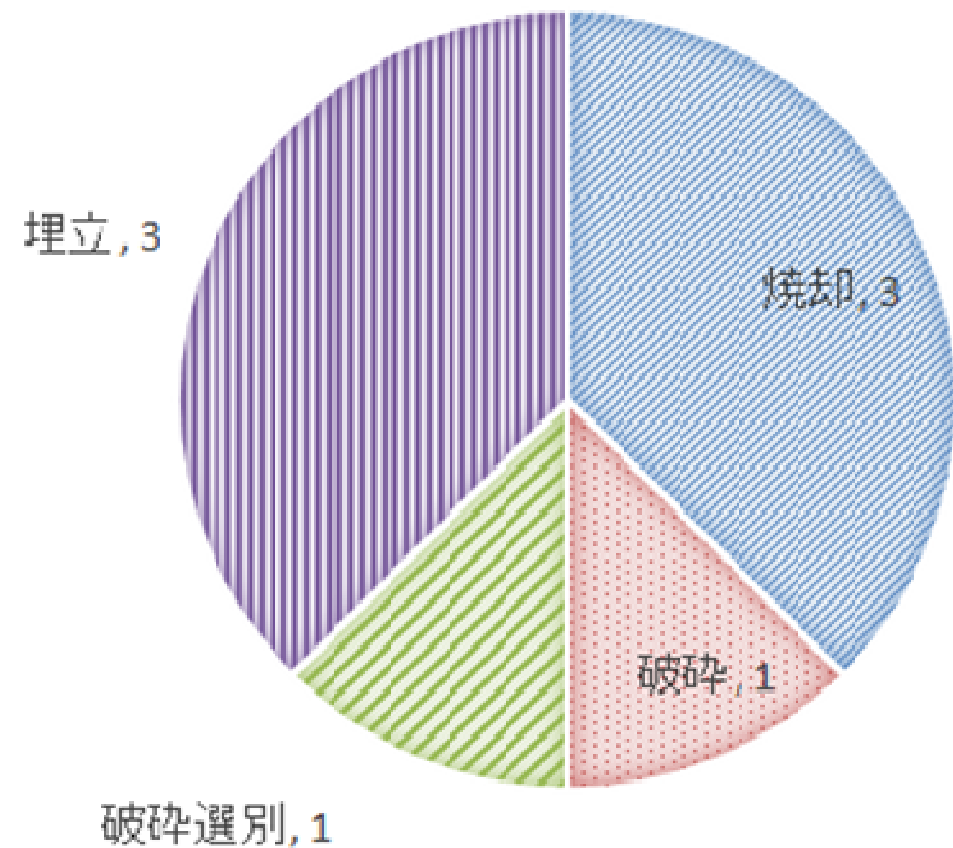
4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：処理後物の処理方法について教えてください。【廃プラスチック類】

（処理方法）



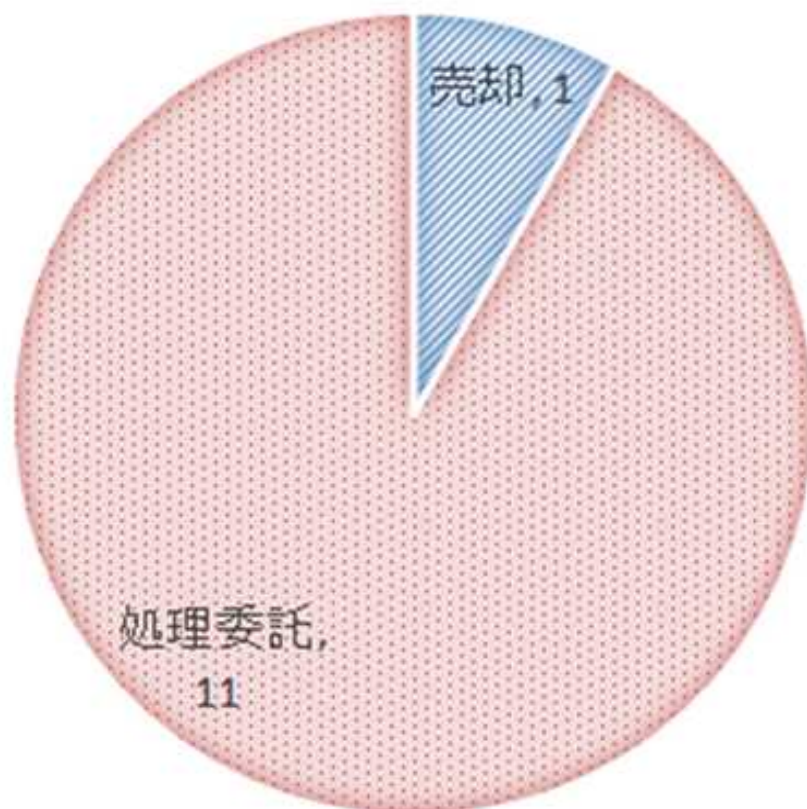
（処理委託分）



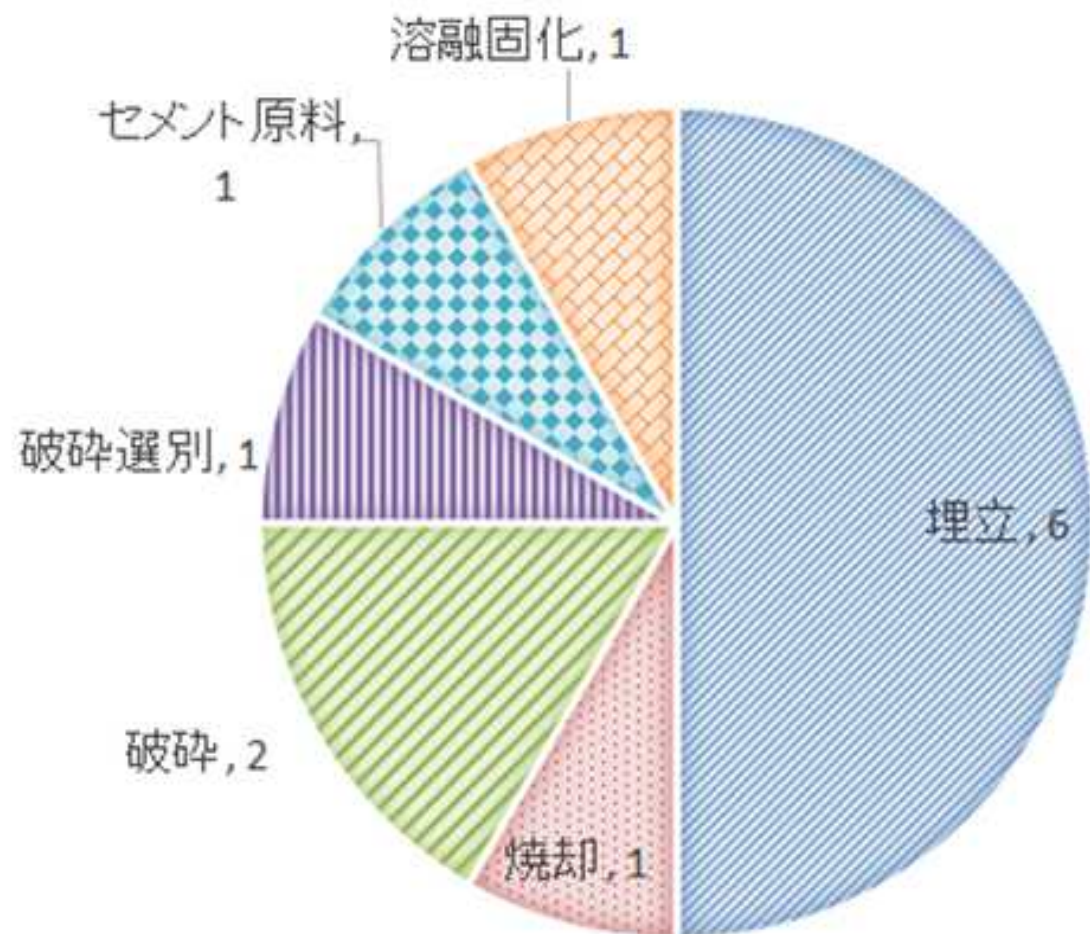
4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：処理後物の処理方法について教えてください。【ガラスくず】

（処理方法）



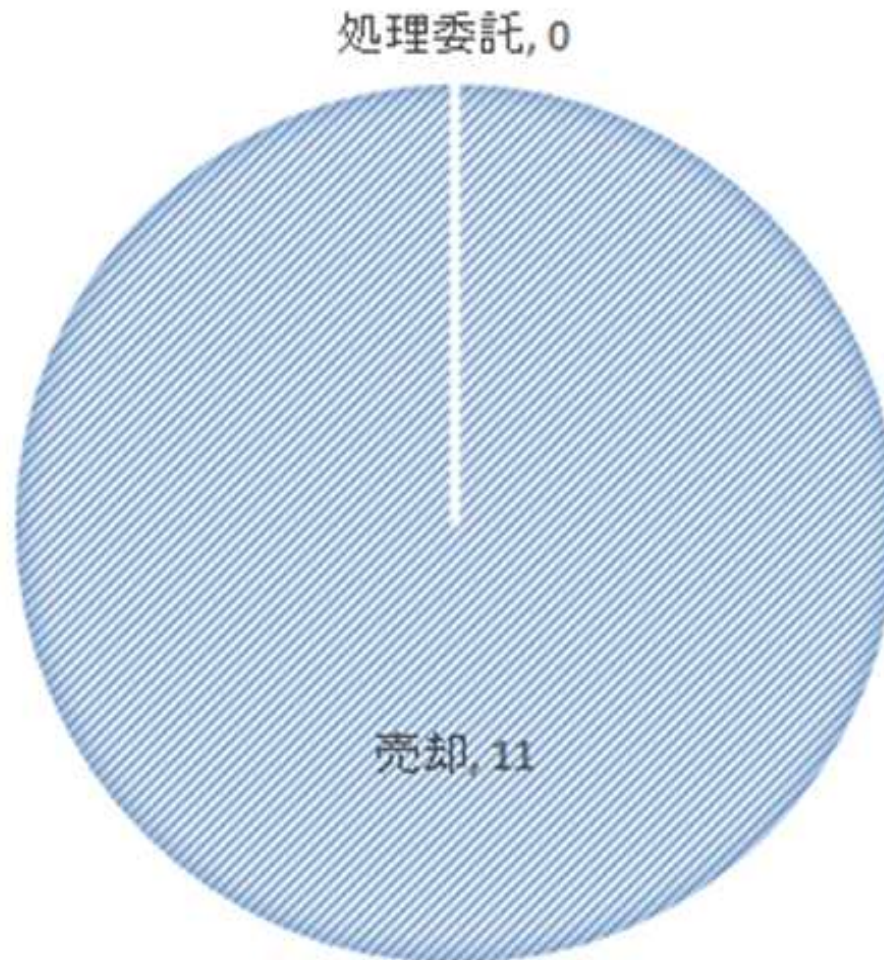
（処理委託分）



4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

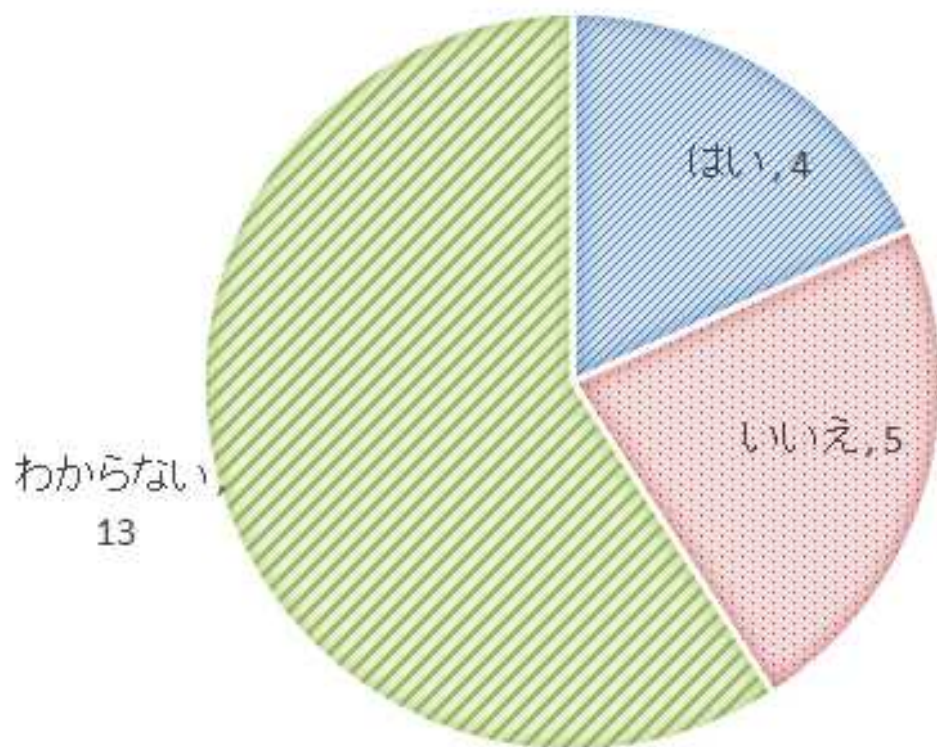
Q：処理後物の処理方法について教えてください。【金属くず】

（処理方法）



4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：今後、使用済太陽光パネルが多く排出されると想定されていますが、太陽光パネルの処分を新たに実施しようと考えていますか。



（「はい」の理由）

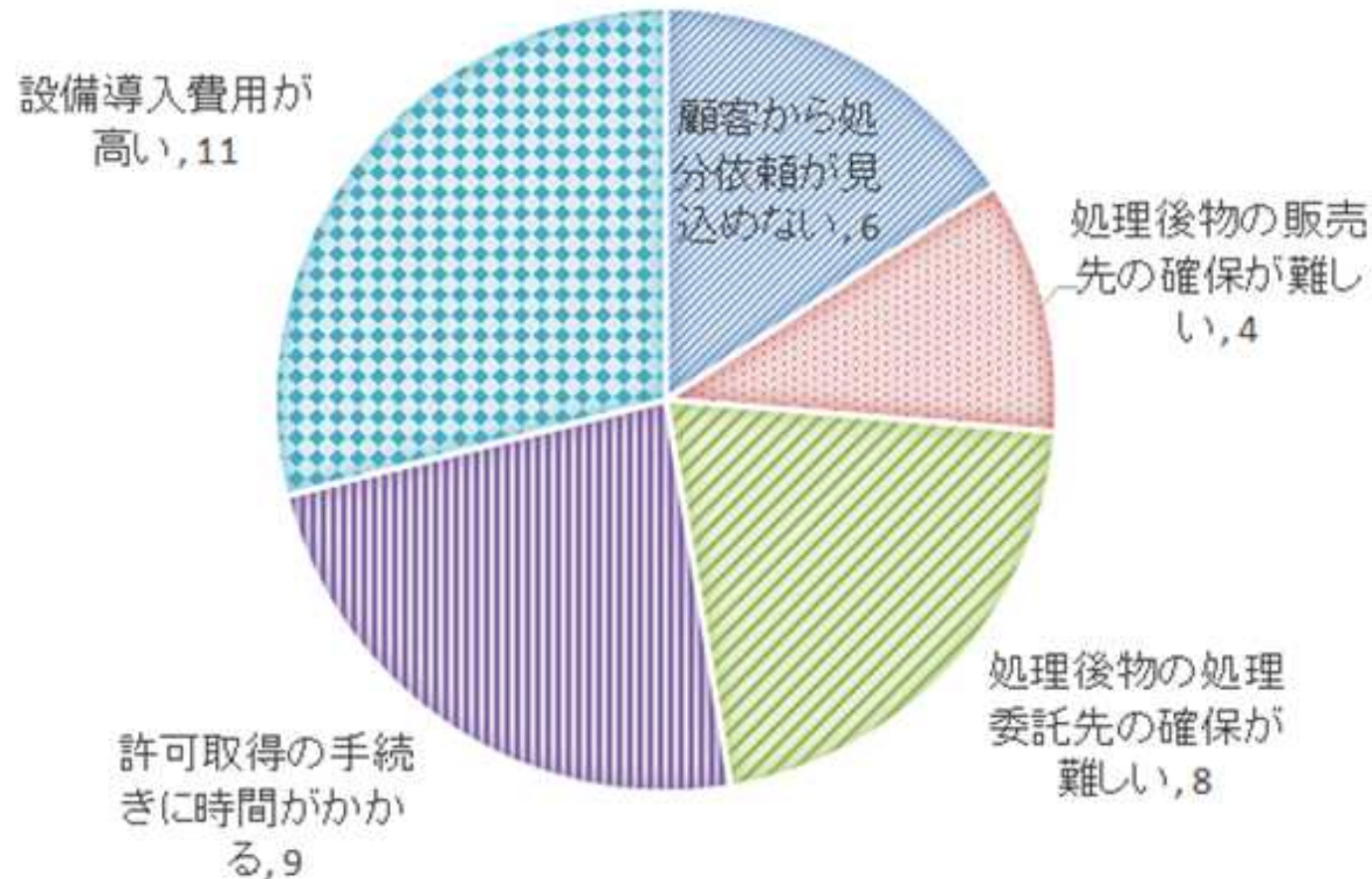
- ・ 大量発生を見込んでいるため
- ・ 依頼があるため、需要がありそうなので
- ・ 貴金属の回収（主に銀）を行っており、銀を使用している太陽光パネルからの銀回収を考案中の為。

新規参入を予定している事業者は「2割」程度！

4 調査結果（1 使用済用済太陽光パネルの処理について）

Q：今後、使用済太陽光パネルが多く排出されると想定されていますが、太陽光パネルの処分を新たに実施しようと考えていますか。

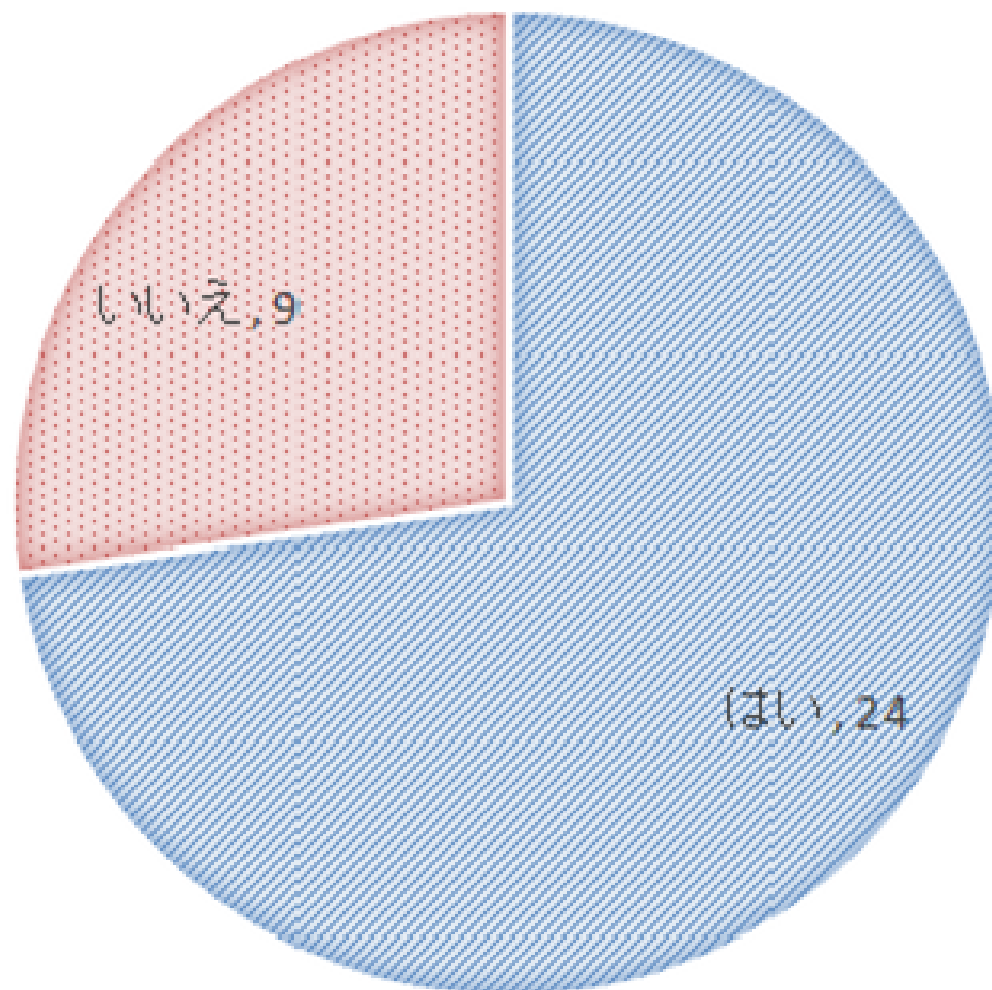
（いいえ」、「わからない」とした理由）



新規参入予定事業者を増やすためには、処理後物の再生ルートの構築が必要！

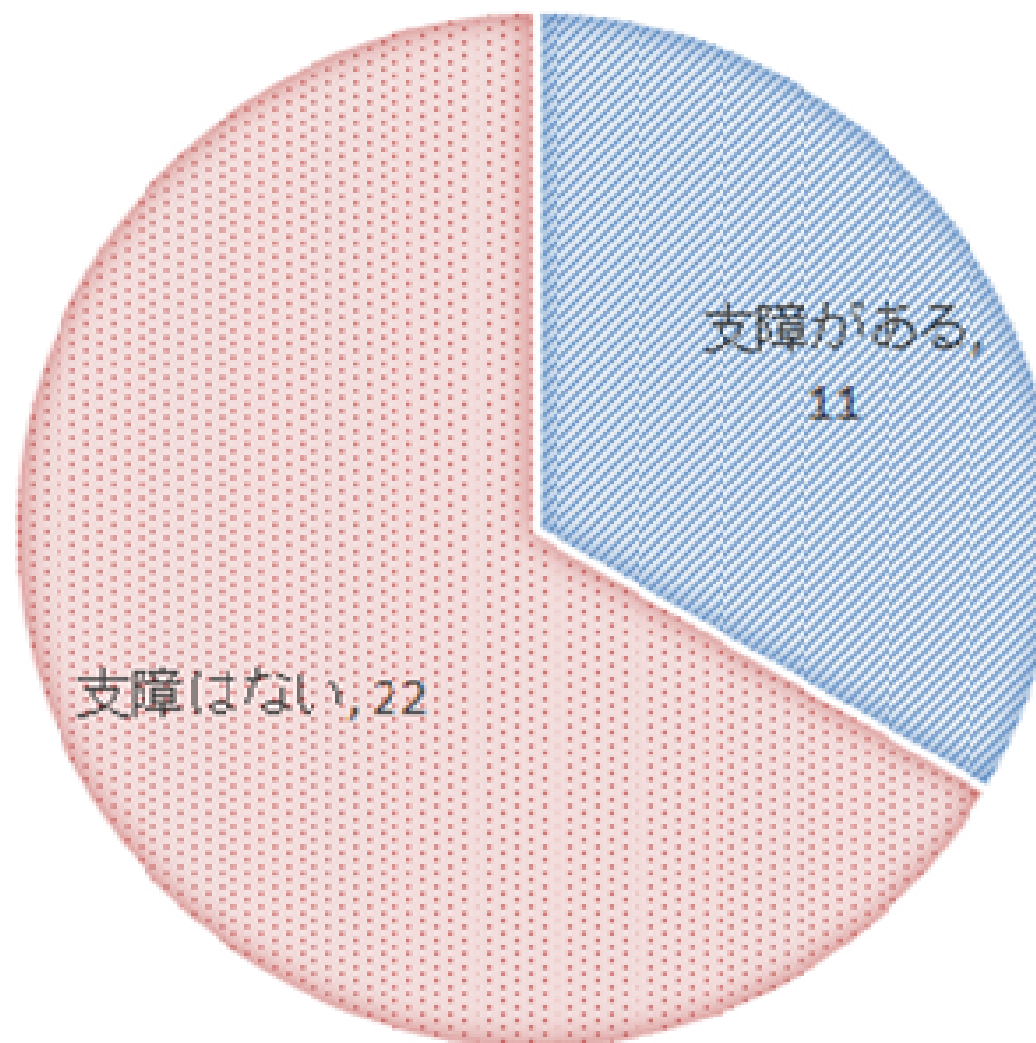
4 調査結果（2 太陽光パネルリサイクルの義務化について）

Q：現在、国で太陽光パネルのリサイクル義務化について検討していることを知っていますか。



4 調査結果（2 太陽光パネルリサイクルの義務化について）

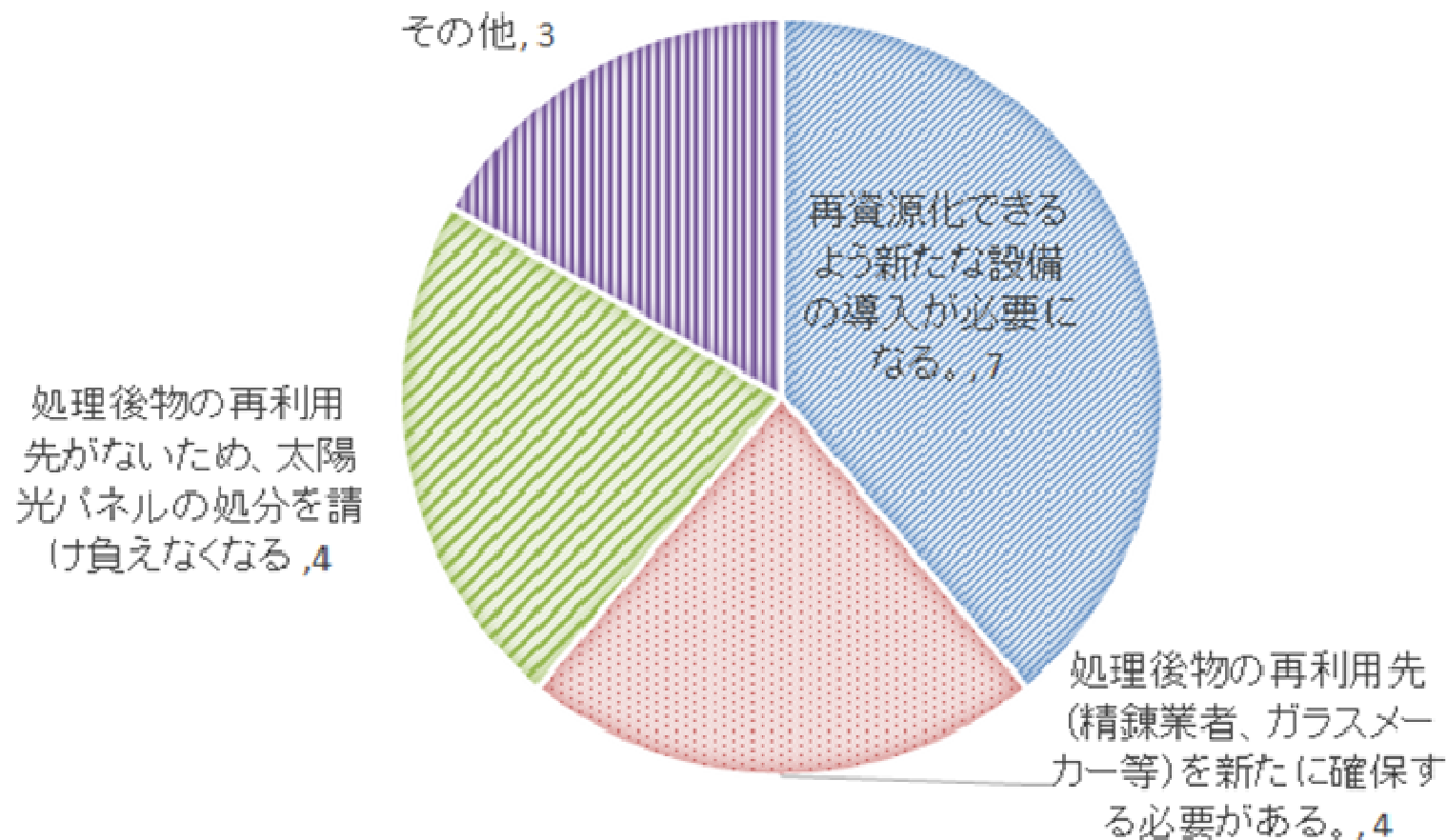
Q：リサイクルが義務化された場合、貴社の業務に支障があると思いますか。



4 調査結果（2 太陽光パネルリサイクルの義務化について）

Q：リサイクルが義務化された場合、貴社の業務に支障があると思いますか。

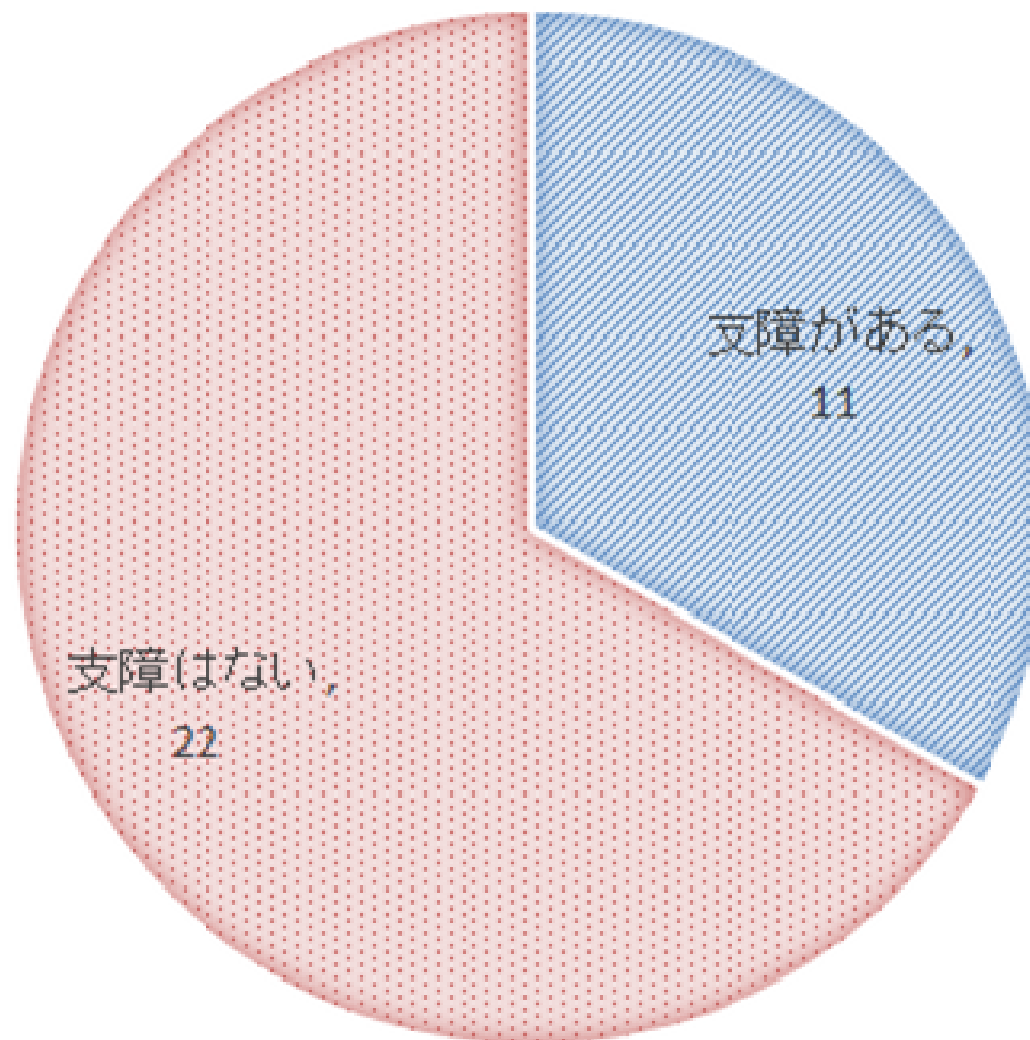
（考えられる支障）



設備の導入費用や、処理後物の再利用先の確保が問題！

4 調査結果（2 太陽光パネルリサイクルの義務化について）

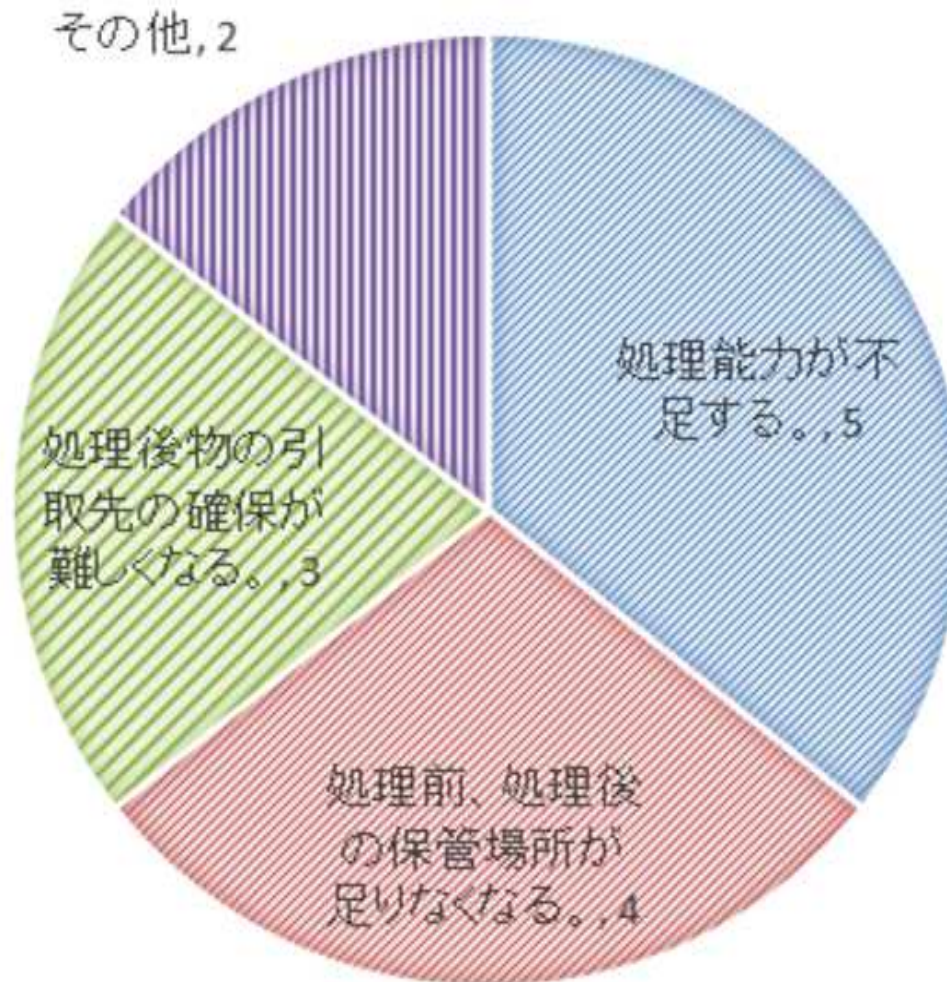
Q：2030年代後半以降、使用済太陽光パネルが多く排出されることにより、貴社の業務に支障が出ると考えますか。



4 調査結果（2 太陽光パネルリサイクルの義務化について）

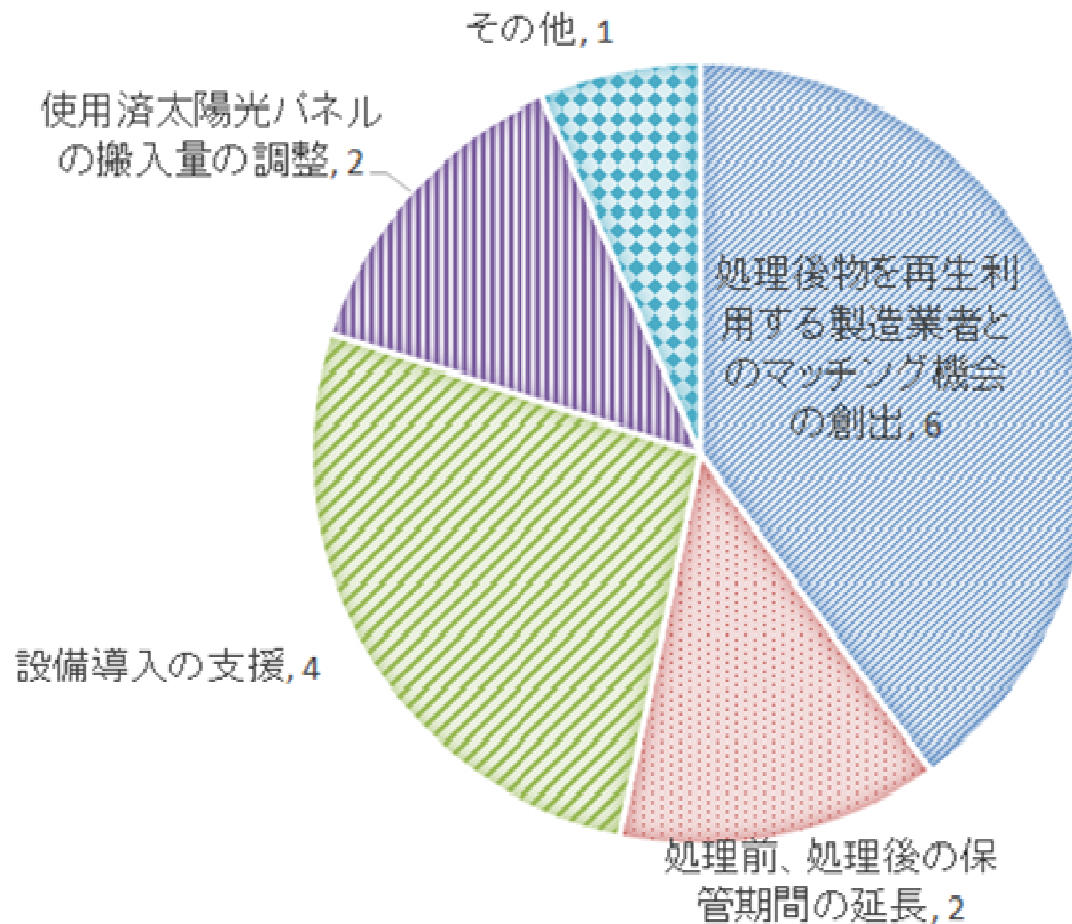
Q：2030年代後半以降、使用済太陽光パネルが多く排出されることにより、貴社の業務に支障が出ると思いますか。

（考えられる支障）



4 調査結果（2 太陽光パネルリサイクルの義務化について）

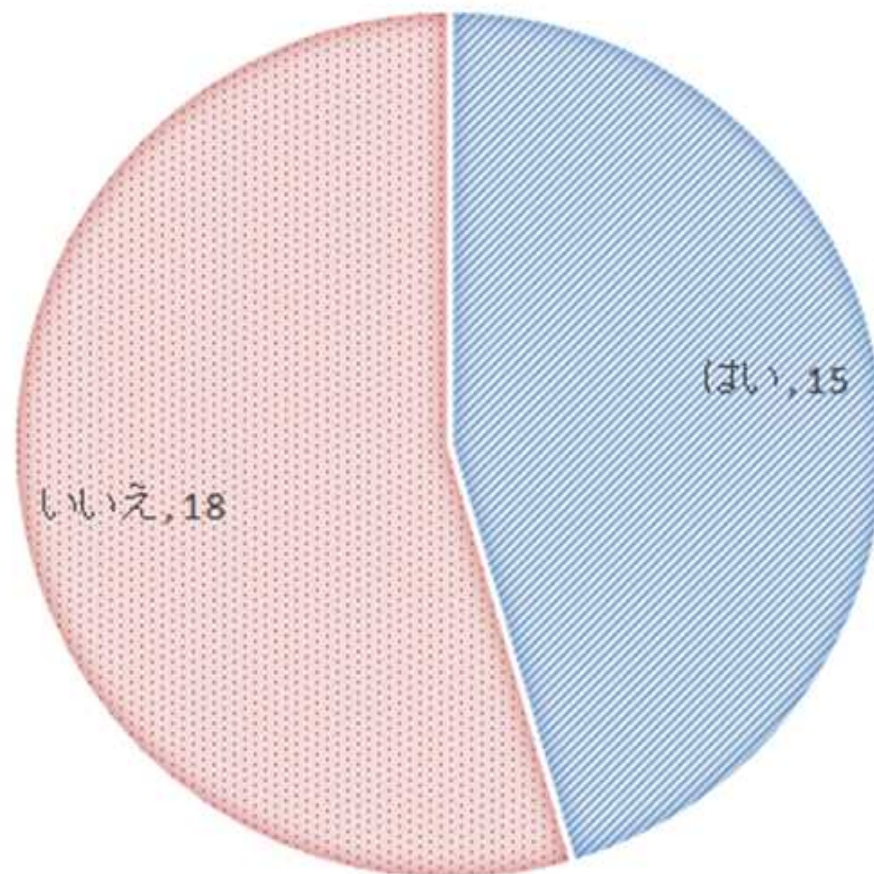
Q：支障を取り除くために、必要だと思うことを教えてください。



処理後物の再生利用業者とのマッチング機会の創出等の支援が必要

4 調査結果（3 再資源化事業者の認定制度について）

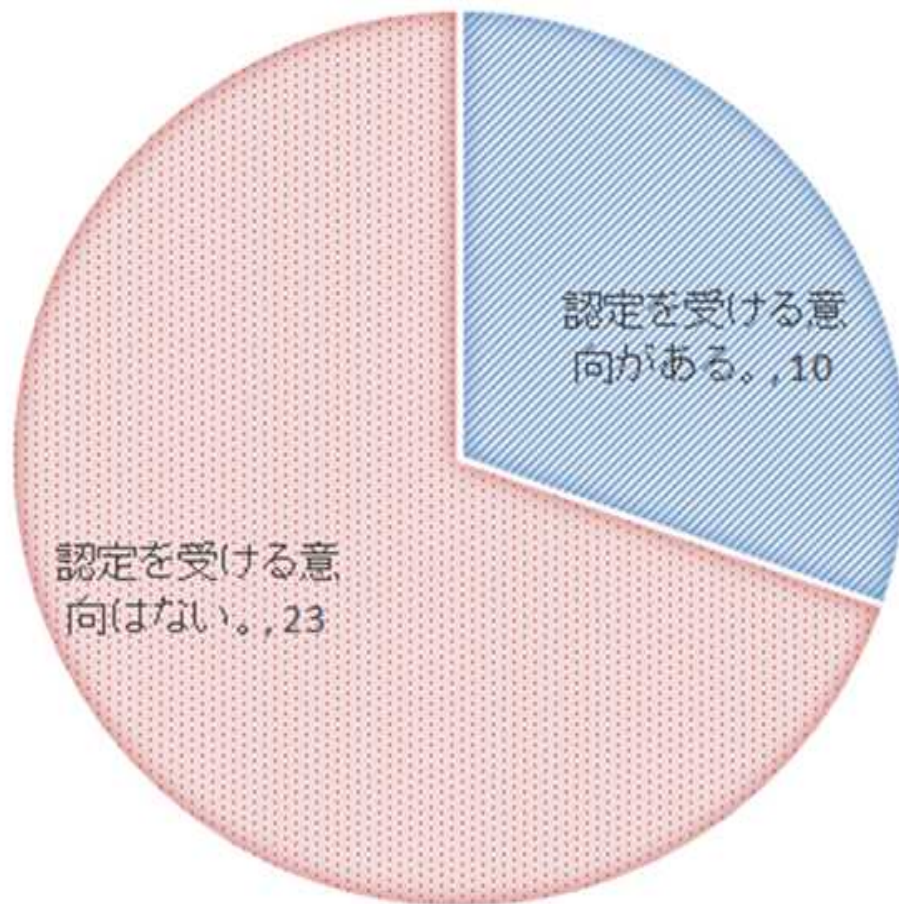
Q：太陽光パネル再資源化事業者等の認定制度が施行されることを知っていますか。



- ・ 認定制度について知っている事業者は「約半数」
- ・ 制度自体の周知や認定を受けるメリット等を広く周知する必要あり

4 調査結果（3 再資源化事業者の認定制度について）

Q：認定を受ける意向はありますか。



（「はい」の理由）

- ・ 中間処理先として、選んでもらえる可能性が高まる。
- ・ ビジネスチャンスがある。

（「いいえ」の理由）

- ・ 新たな業務として稼働できるか不安。
- ・ 設備導入費用が高い。場所、時間、コスト等、あらゆる面で実現不可能。
- ・ 認定制度がよくわからないため。

認定を受ける意向がある処理業者は「約3割」

5 まとめ

1 使用済用済太陽光パネルの処理について

- ・県内において、既に**太陽光パネルの処理を行っている事業者は3割程度**であった。太陽光パネルの専用設備を所有している事業者が見られる一方、**新規参入を予定している事業者は2割程度**であった。
- ・新規参入予定事業者を増やすためには、**処理後物（特にガラスくず）の再生ルート**の構築が必要であると考えられる。

2 太陽光パネルリサイクルの義務化について

- ・リサイクル義務化に伴う支障として、**設備の導入費用や、処理後物の再利用先の確保**を挙げる事業者が多く見られた。今後、処理後物の**再生利用業者とのマッチング**の創出等の支援が必要になると考えられる。

3 再資源化事業者の認定制度について

- ・太陽光パネル再資源化事業者等の**認定を受ける意向がある処理業者は約3割**であった。認定制度について知っている事業者は約半数であり、今後、**制度自体の周知や認定を受けるメリット等を広く周知**する必要がある。